

つながる Fujioka

地域を支える自治会～自治会活動で育む地域の絆～



もくじ

- ・自治会の役割、活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・藤岡地域の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・藤岡の偉人・名所・特産品・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・藤岡のレジャースポット・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・藤岡地域の団体、事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ・自治会区域図（部屋・藤岡・赤麻・三鴨）・・・・・・ 8

令和6年度発行

藤岡地域自治会連合会

編集；藤岡地域自治会連合会事務局
（藤岡地域づくり推進課 62-0900）

はじめに

地域みんなが楽しく活動に参加する、自治会の加入者が増えていく自治会づくりを理想とし、地域への愛着や自治会の良さをもう一度見つめなおし、自治会活動に役立ててもらうために本書を作成しました。ぜひ、ご覧いただきご参考にしていただけると幸いです。

地域みなさんがお互いに支え合い、
住みよいまちづくりを目指す組織です。

自治会とは

自治会は、地域住民相互の連帯感を育て、地域の福祉・環境・防災・防犯など、地域の様々な課題に取り組みながらまちづくりを進めていく**住民の自治組織であり、任意団体**です。

自治会は、市やその他の行政の依頼によって組織されたものではなく、民主的・自主的に組織された独立団体です。行政の組織の一部ではありませんが、公共的な性格を持ち、住民の声を行政に届けたりするなど、**行政との重要なパイプ役**としてなくてはならない存在です。

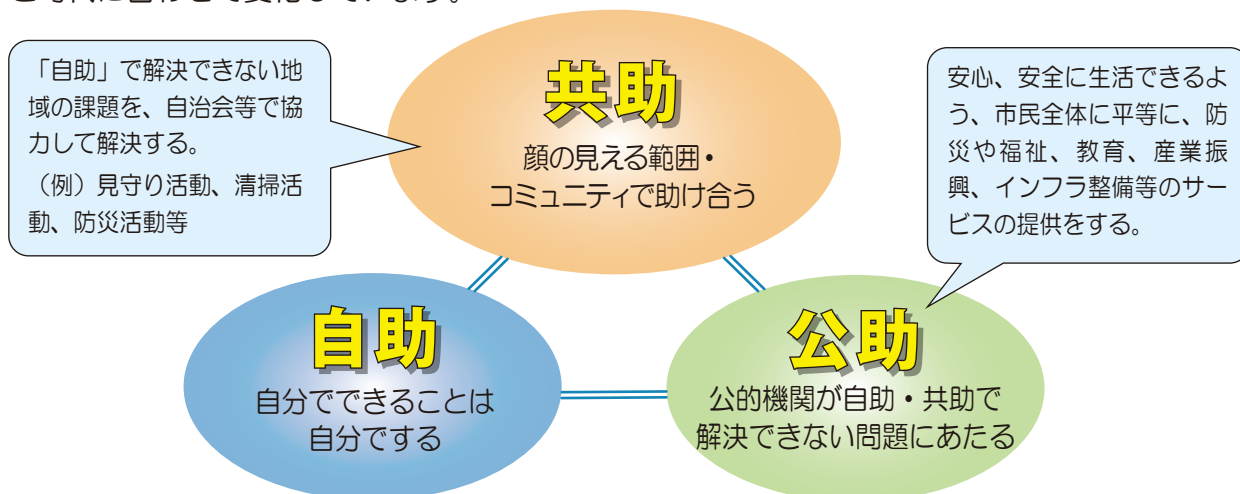
自治会の役割

自治会の役割は、その時、その場で、地域住民が必要としているもので、最初から全てが決まっているわけではありません。

かつては、冠婚葬祭を始めとする日常生活において、自治会は大きな役割を担っていました。しかし近年は、様々な面で行政や民間のサービスが増え、隣近所の方に頼みごとをしなくても、日常生活に困らないようになってきました。これにより、自治会の活動や規模が縮小しつつあります。

一方で、本市においても、平成27年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風による災害の際には、自治会の力が大きく発揮され、自治会が安心して暮らすための助け合いの組織であることが再認識されました。

この様に、自治会の役割は、これまでの日常生活の助け合いや地域住民の親睦の場だけでなく、防災、防犯、交通安全、福祉、環境など良好な地域社会を形成する「共助」の組織へと時代に合わせて変化しています。



自治会組織・自治会連合会

栃木市内の単位自治会には、10世帯に満たないものから、800世帯を超えるものまであり、その組織形態や運営は様々となります。栃木市には、469の単位自治会が活動し、これらの各地区の連絡調整や取りまとめる栃木市自治会連合会があります。

藤岡地域では、4つの地区に分かれ、各地区には多くの自治会があり、藤岡全体で103の自治会があります。各地区ごとの自治会がまとまって藤岡地域自治会連合会があります。

○藤岡地域自治会連合会



自治会活動

自治会では「お互いさま」の気持ちを基本に、自分たちの地域が少しでも暮らしやすくなるように活動しています。自治会が取り組んでいる活動は多種多様で、地域ならではの理由により、地域での取り組み方はそれぞれとなります。

（一例）

○情報を伝える（広報活動）

○安全な暮らしを支える（防犯・防災活動）

○まちをきれいにする（環境美化活動）

○子どもを地域で育てる、高齢者を見守る（親睦・交流活動）

自治会活動＝人と人との“つながり”を築く



A photograph of a rural landscape. In the background, a large, rounded hill with sparse vegetation rises against a clear blue sky. In the middle ground, a cluster of small buildings is visible, including a prominent one with a red roof. The foreground consists of a flat, open field, possibly a dry riverbed or a cleared area, with some low-lying vegetation and a few small structures scattered across it.

栃木市藤岡町は、栃木県の最南端にあり、埼玉県・茨城県・群馬県に接しています。

○藤岡町の沿革

藤岡町は、昭和30年に藤岡町、赤麻村、三鴨村、部屋村が合併し、藤岡町となりました。

また、平成22年3月29日に栃木市、大平町、藤岡町、都賀町の1市3町が合併して誕生し、平成23年10月1日に隣接する西方町を、平成26年4月5日に岩舟町を合併し、現在の栃木市となりました。



偉人や名所、特産品

山王寺大樹塚古墳（部屋地区）



山王寺大樹塚古墳は、巴波川右岸の水田の中にある全長96m、高さ9mの前方後方墳という珍しい形をしています。調査によって、古墳の後方部より粘土郭（死者を埋葬したところ）と土抗が発見され、変形神獸鏡、鉄剣、直刀、鉄斧、鉄鏃、底部穿孔土器などの多くの副葬品が出土しています。

新波提灯（部屋地区）



江戸時代後期より、地元の圓照院潮音寺住職より提灯づくりの技術を伝授され、その技術は4代目まで続いています。

一つ一つが手作りの伝統工芸品のため、大量生産はできませんが、代々受け継がれてきた技術を活かし、注文された方のニーズに合った提灯を目指して受注製造販売を行っています。

栃木県伝統工芸品に指定されているとともに、2008年（平成20年）には栃木県伝統工芸士に認定されました。

藤岡神社遺跡（藤岡地区）



藤岡神社遺跡は、1991年（平成3年）から4年間発掘調査が行われ、縄文時代前期から晩期の集落跡が確認され、数多くの土器・土製品（土偶・動物形土製品等）や石器・石製品（石剣・石冠等）などが出土しました。当時の様子をうかがう上で貴重な物であるため、出土品は国指定文化財となっています。また、神社正面の2本の巨木（けやき）は樹齢およそ400年、栃木の名木百選のひとつです。

藤岡城跡（藤岡地区）



藤岡城の歴史は資料に基づいて明確に語られたことが少なく、多分に伝承の世界で語り継がれています。近年、藤岡城の再検討が進められ、佐野氏の出城であったことや館林赤井氏の家臣である茂呂氏の居城であったことなどが確認されつつあります。

現在確認できる遺構は空堀と削平地のみが残り、三方が湿地に囲まれていることから、大手筋（正面）は東側に設定されていたと思われます。

田中正造翁銅像（藤岡地区）



1841年（天保12年）に佐野市の名主の長男として生まれ、明治23年第1回衆議院議員となりました。足尾鉍毒問題を帝国議会に提出、住民の為に尽力しました。議員辞職後、足尾鉍毒問題を天皇に直訴したのはあまりにも有名な話です。この後も谷中村に住み村民の為にその半生を捧げました。

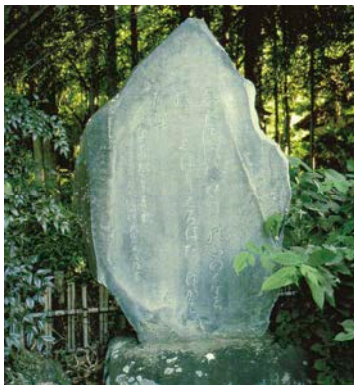
栃木山守也の碑（赤麻地区）



本名横田守也、明治25年、赤麻村小池に生を受けました。18歳で出羽の海部屋へ入門、栃木山と名乗り、26歳で待望の第27代横綱となり、以降34歳で引退するまで9場所の優勝を記録しました。

引退後は年寄春日野の養子になり、昭和34年10月3日67歳の生涯を閉じました。記念碑は、7回忌の昭和40年に現春日野一門により建てられ、星宮神社の境内にあります。

みかも山 万葉歌碑（三鴨地区）



しもつけね みかものやまの こならのす
まくはしころは たかけかもたむ
（『万葉集』巻14 東歌）

みかも山公園南口の東、麓の三鴨神社境内にあります。万葉の時代に詠まれた歌が石碑として現代にその風情を残しています。

漢学者「森鷗村」 もりおうそん



1831年藤岡村の名主の家に生まれた森鷗村は、江戸で学問を学び幕府の役人として諸国を廻った後、故郷に戻り私塾を開きました。藤岡町大前に設立された「修身館」では初代教師となり、その後私立学校「鷗村学舎」を開き、大平の偉人・田村律之助^{たむらりつのすけ}や藤岡の実業家・岩崎清七^{いわさきせいしち}など多くの英才を世に送り出しました。

藤岡のレジャースポット



渡良瀬遊水地

約3,300ha（このうちラムサール条約指定面積2,861ha）の広大な面積を有する日本最大の遊水地です。コウノトリやチュウヒ（鳥）、アゼオトギリ（植物）といった多くの絶滅危惧種を含む多様な動植物が生息・生育する広大な湿地で、ラムサール条約登録地となっています。

また、スカイスports、ウォータースports、自転車、バーベキューなど、さまざまなレジャーやスポーツが楽しめます。

特にスカイスportsは熱気球、スカイダイビング、ウルトラライトプレーンなどが盛んに楽しまれています。



みかも山公園

佐野藤岡ICから車で1分少々。フラワートレインやわんぱく広場などが子どもに人気のスポット。トレッキング用のハイキングコースも風光明媚です。



道の駅みかも

東北自動車道佐野藤岡ICからすぐ近く、国道50号沿いに、地域活性化や観光情報発信地として整備されました。良質で新鮮な地元野菜や栃木市ならではの名産品、地元産のさつまいもベニアズマを使用した本格芋焼酎「こなら娘」などが並び、地域の魅力を感じることができます。



三県境

3つの県境が一点に集まる箇所を三県境といい、栃木県栃木市、群馬県板倉町、埼玉県加須市がそれぞれ接しています。県境は山間地や河川の中にあるのが大半で、全国でも珍しい歩いて行ける平地にあります。



渡良瀬遊水地ハートランド城

渡良瀬遊水地のガイダンスセンターとして来訪者をご案内しています。また、谷中湖と共に「恋人の聖地」に選定されています。1階ロビーでは各種パンフレットを手にとったり、コウノトリモニュメントと記念撮影をすることができます。2階は渡良瀬遊水地の成り立ちや役割が学べる展示、3階は展望室になっており、渡良瀬遊水地や富士山、スカイツリーを遠望することができます。

藤岡地域で活躍している団体、事業

認定まちづくり実働組織「ハートランドまちづくり隊」



地域の課題解決や、地域活性化のために自ら企画し活動している団体です。子どもからお年寄りまで集まって楽しめるイベントの開催（ハ木節祭り）や伝統行事の復活（どんど焼き）、清掃活動（クリーン作戦）など、地域を元気にするアイデアを出し合い、さまざまな事業を行っています。

高齢者学級（わたらせ大学）、成人講座

地域にお住まいの方を対象に、共に学び合い、充実した日々を送るための学習の場を提供するとともに、参加者同士の交流、地域住民の仲間づくり・つながりづくりを目的として開催しています。生活スタイルや趣味、趣向に合わせた講座を定期的に行っています。

わたらせ熱気球day

渡良瀬運動公園で毎月第3日曜日に開催する熱気球イベントです。上空20～30mまで浮上する係留飛行体験により、渡良瀬遊水地で広く楽しまれている熱気球を気軽に体験することができます。

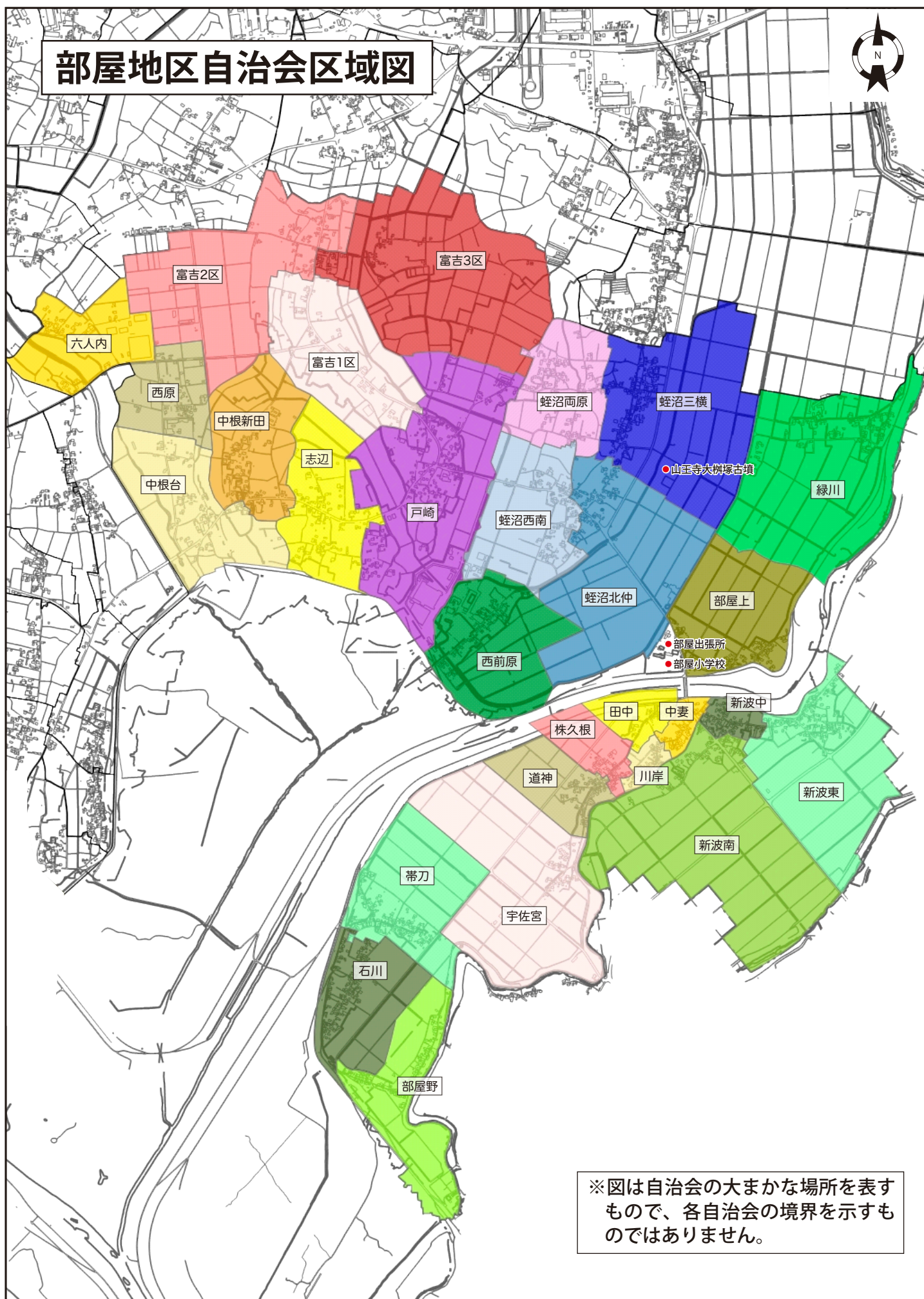


渡良瀬遊水地フェスティバル

ラムサール条約記念事業として渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会が主催、栃木市が共催として10月上旬に開催しています。

熱気球、グライダー、スカイダイビング、ボート、サイクリングといった渡良瀬遊水地で日常的に楽しまれているレジャーやスポーツを体験できたり、栃木市と渡良瀬遊水地の魅力を再発見できるイベントです。

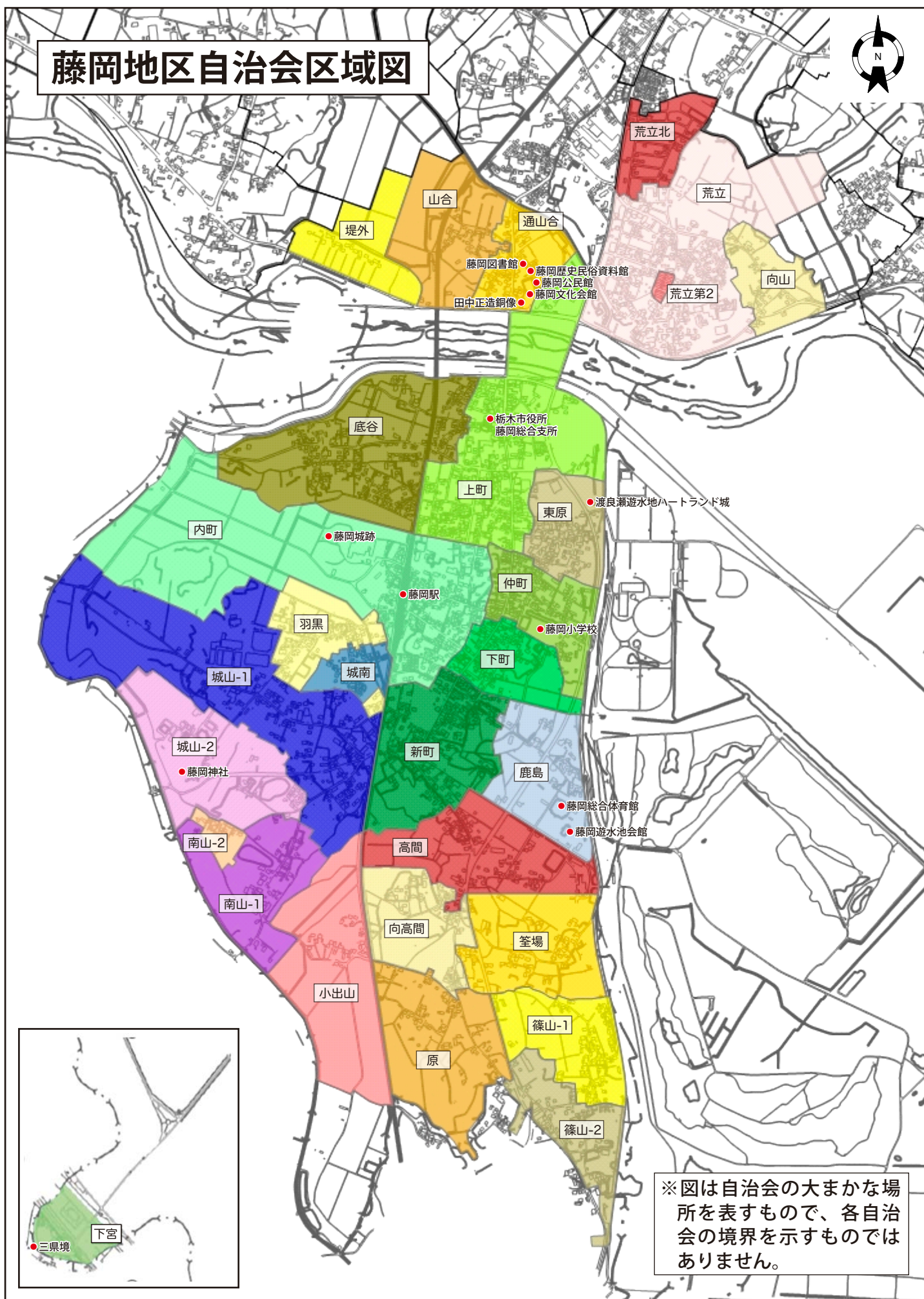
部屋地区自治会区域図



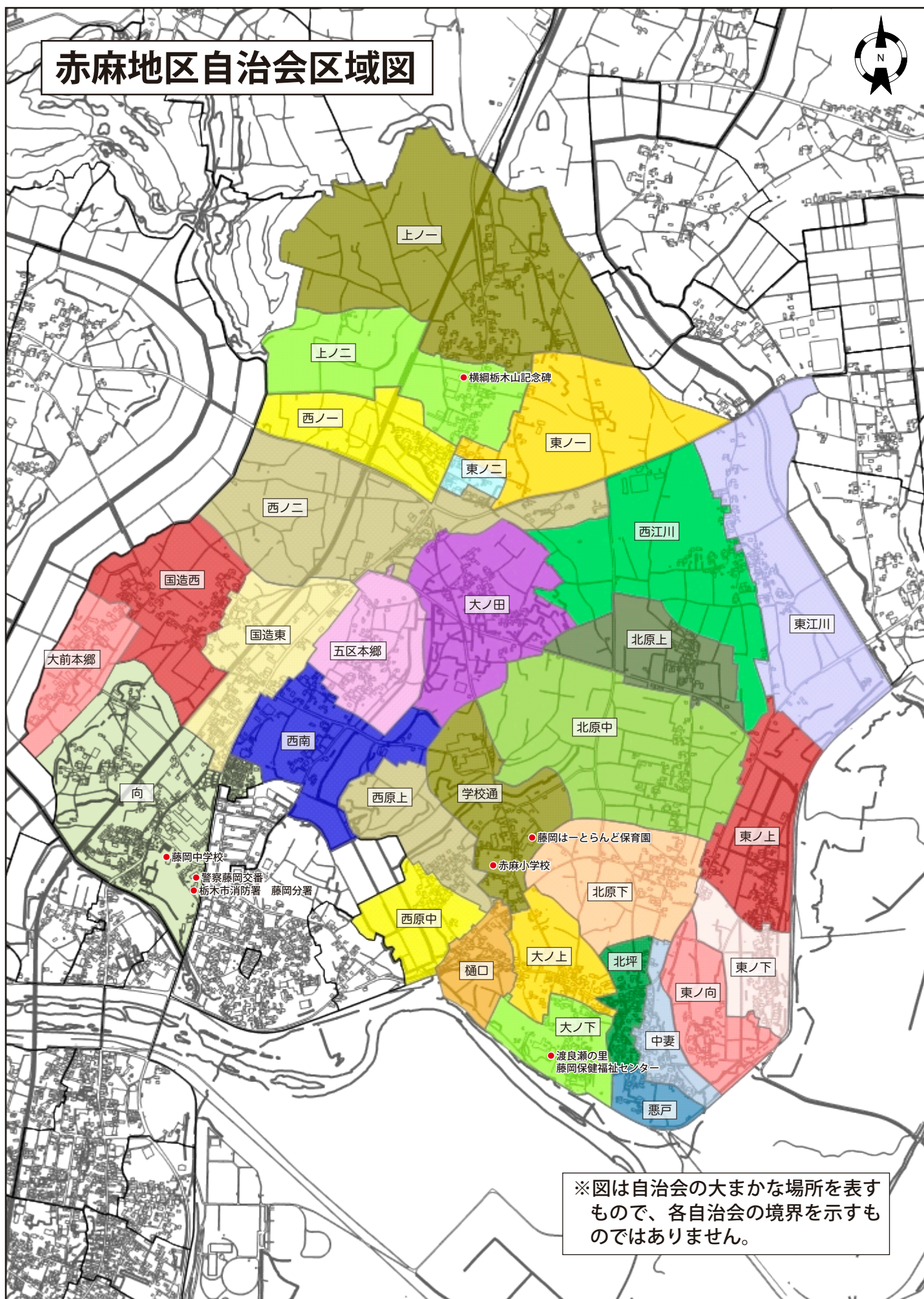
※図は自治会の大まかな場所を表すもので、各自治会の境界を示すものではありません。



藤岡地区自治会区域図

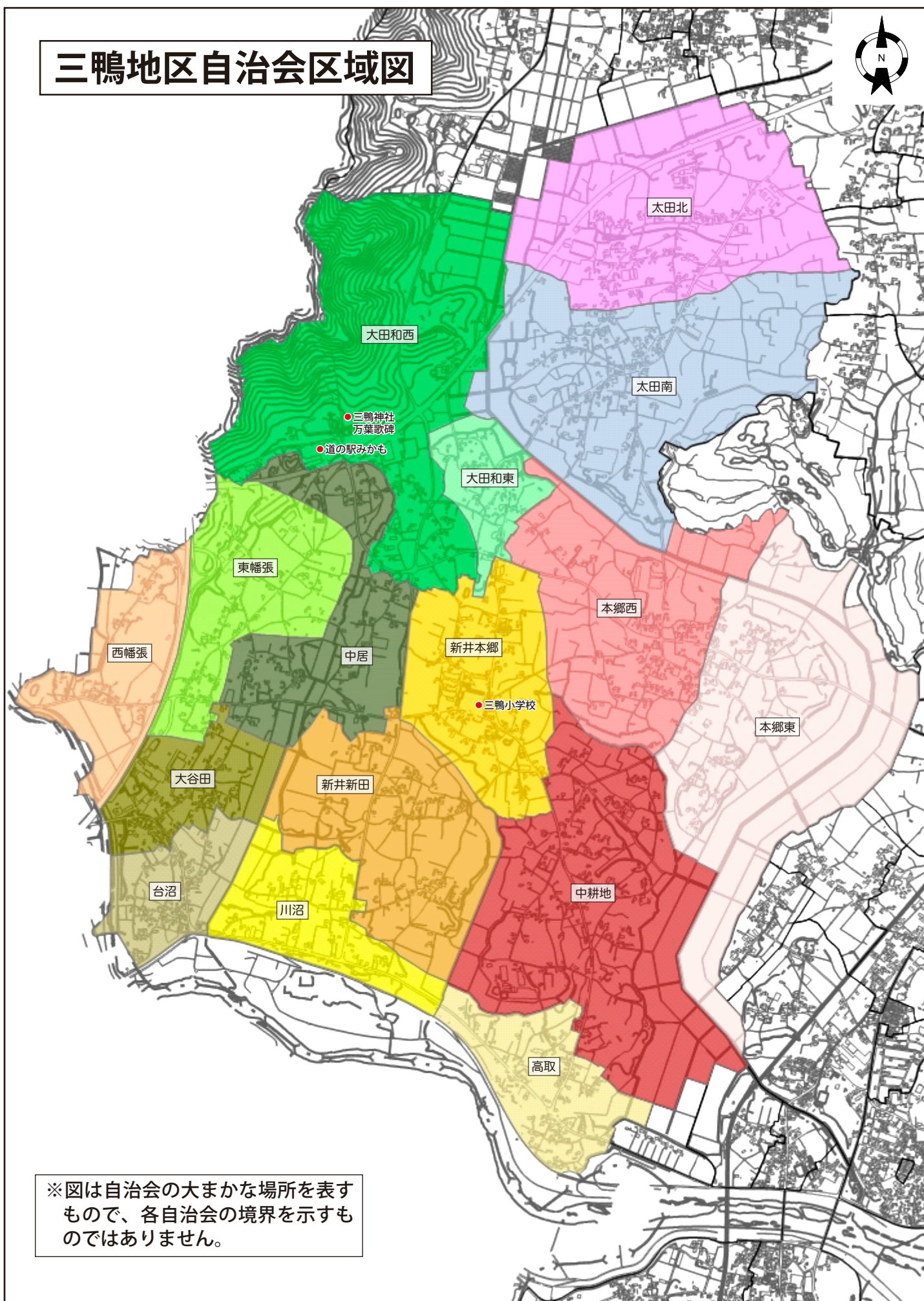


赤麻地区自治会区域図



※図は自治会の大まかな場所を表すもので、各自治会の境界を示すものではありません。

三鴨地区自治会区域図



※図は自治会の大まかな場所を表すもので、各自治会の境界を示すものではありません。